

令和 8 年度  
北海道網走南ヶ丘高等学校  
定時制課程普通科

第 1 学年  
年間指導計画・評価計画

- 1 国語科「現代の国語」
- 2 地歴公民科「公共」
- 3 数学科「数学Ⅰ」
- 4 理科「科学と人間生活」
- 5 保健体育科「保健」「体育」
- 6 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」
- 7 情報科「情報Ⅰ」
- 8 商業科「ビジネス基礎」

※家庭科「家庭基礎」はオリエンテーション時にプリント等で説明済み。

令和8年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
国語	現代の国語	2単位	1学年	改訂版 標準現代の国語(第一学習社)	未来をひらく常用漢字 漢字検定5級～2級 (桐原書店)	資金 あみ

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	・論理的に考える力を伸ばし、理解したことを表現する力。 ・言葉を通して他者や社会に関わる態度。
【学習の留意点】	・意欲的に学習に取り組もうとする態度を評価します。 ・基礎、基本を大切に、自分なりに考えようとするのが大切です。

【評価の観点とその主な目標】

※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。

評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)

評価A 十分満足できる状況  
評価B 概ね満足できる状況  
評価C 努力を要する状況

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題(Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
視野を広げる一自己	なぜ本を読むのか	5	筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。	・「読むこと」において、文章構成をもとに内容を的確に捉え、要点を把握している。	ワークシート 単元小テスト	○	○	○		
視野を広げる一自己	書き方の基礎レッスン	4	表記・表現の基本ルールや、接続表現の種類や用法、比喩などの表現技法を理解する。	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。	ワークシート	○	○	○		
視野を広げる一自己	話し方の基礎レッスン	4	相手・目的・場面に応じた話し方を理解する。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	ワークシート	○	○	○		
自分の立場を明確にする一言語	言葉遣いとアイデンティティ	5	人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深める。	・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	ワークシート 単元小テスト	○	○	○		
自分の立場を明確にする一言語	スピーチで自分を伝える	4	・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。	ワークシート スピーチ	○	○	○		
根拠を示す一文化	水の東西	5	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。	ワークシート 単元小テスト	○	○	○		
根拠を示す一文化	地域の魅力を伝える紹介文を書く	7	必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。	・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。	グループワーク	○	○	○		
論理的に考える一情報・コミュニケーション	私たちはなぜ承認を求めるのか	5	論理展開を理解し、SNSでのコミュニケーションのあり方について考えを深める。	・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	ワークシート 単元小テスト	○	○	○		
論理的に考える一情報・コミュニケーション	SNS利用についてのリーフレットを作成しよう	7	情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	グループワーク	○	○	○		
伝えたいことを明確にする一相互理解	相手に伝える案内をする	4	相手・目的・場面に沿って的確に案内する方法を理解し、実践する。	・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	グループワーク	○	○	○		
考えを深める一仕事	法律の改正に関わる文章を読み比べる	6	改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連付けながら理解したことをまとめる。	・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	ワークシート	○	○	○		
考えを深める一仕事	意見をまとめる話し合いをする	4	論点共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いをする。	・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	グループワーク	○	○	○		



令和8年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
公民	公共	2単位	1学年	公共(東京書籍)	授業プリント	中野克彦

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	我々の生きる現代社会において起こる様々な諸問題について多面的・多角的に考察し、その内容を自分の言葉で説明することが出来る。
【学習の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パワーポイントや映像資料などを提示するためプロジェクター等のICT機器を使用する。</li> <li>・ プロント(ノート)を毎回回収し、フィードバックする。</li> <li>・ 授業のユニバーサルデザイン化を意識した授業を行う。 ・キャリア教育の一環として、地元企業のお話からリアルな職業の現場について知る。</li> </ul>

【評価の観点とその主な目標】	
※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか？(基準)」と「どのようなレベルを求めるか？(規準)」を説明します。	
評価の規準(どのようなレベルを求めるか？)	評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を的確かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けることができる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・だんだんの手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れないが構想したことを自分の言葉で表現することができる。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な行為や深い理解を通して涵養される、現代社会を生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚を深めることができる。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領にに合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題(Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け	
公共的な空間を作る私たち —社会の中の自己	1 青年期と自己形成の課題 2 自己形成と社会への参画	1 2	1 「私らしさ」はどのようにつくられるか？ 2 「私」はどのように社会とかかわるのか？	1 人間の生涯の中で、青年期はどのような時期なのか理解し、自分の言葉で説明することができる。 2 青年期のキャリア形成に重要なことは何かを理解し、自分の言葉で表現することができる。	授業プリント 前時の復習テスト		○	○	○		
	1 個人として尊重される人間 2 社会的な存在としての人間 3 伝統・文化のなかに人間	3 4 5 6	1 人間が「個人」として尊重するとはどういうことか？ 2 人間が「社会的な存在」であるとはどういうことか？ 3 私たちのものの考え方はどのように伝統・文化とかかわっているか？ 前時の復習テスト	1 人間が「個人」として尊重「されていない場面」を考え、比較し自分の言葉で表現することができる。 2 「人間は社会的な存在である」という考え方が現代社会においても妥当なのか、思想家の思想も踏まえ、自分の言葉で表現することができる。 3 日本における人間観とは何か、特徴を自分の言葉で表現することができる。	授業プリント 前時の復習テスト		○	○	○		
公共的な空間における人間としての在り方生き方 —共に生きるための倫理	1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理	7 8	1 目的論とはどのような考え方ののだろうか？ 2 義務論とはどのような考え方ののだろうか？	1 ベンサムとミルの考え方の違いを理解し自分の言葉で表現することができる。 2 自分にとって特になっているルールについて、「無知のヴェール」という考えかたを使って自分の言葉で表現することができる。	授業プリント 前時の復習テスト		○	○	○		
	1 公共的な空間における協働とは 2 民主主義とは 3 立憲主義とは 4 人権保障の意義と展開	9 10 11 12 13	1 協働はどのように成り立つのか？ 2 民主主義をどのようにして実現するか？ 3 憲法は何のためにあるのか？ 4 人権と平等はどのようにすれば確保されるのか？ 前時の復習テスト	1 協働を成立させる方法としての市場と国家の役割をまとめ、自分の言葉で表現することができる。 2 多数決と熟議を比較してそれぞれの特徴や問題点を考え自分の言葉で表現することができる。 3 「立憲主義」の考え方に基づく憲法の意義・役割について自分の言葉で表現することができる。 4 現代社会における人権問題	授業プリント 前時の復習テスト		○	○	○		
民主政治と私たち	1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 3 国会のしくみと役割 4 内閣のしくみと役割 5 政党政治と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論	14 15 16 17 18 19 20 21	1 社会生活のなかで政治はどのような役割を果たしているのだろうか？ 2 地域社会の課題を解決するために、私たちはどのようなことができるのだろうか？ 3 国会は国政のなかでどのような役割を持っているのだろうか？ 4 内閣は国政のなかで、どのような役割をもっているのだろうか？ 5 選挙に参加することは、どのような意義を持っているのだろうか？ 6 政党や利益集団は、民主政治においてどのような役割を持っているのだろうか？ 7 メディアの情報とどのように接していけばよいのだろうか？ 前時の復習テスト	1 民主政治への関わり方について、具体的な参加の仕方を知り、自分の言葉で表現することができる。 2 日本の地方自治が抱える問題点を考え、自分の言葉で表現することができる。 3 二院制の意義や問題点について理解し、自分の言葉で表現することができる。 4 近年の日本で行政改革が求められているのはなぜか、理由を考え自分の言葉で表現することができる。 5 投票率の低下を防ぐためにはどのようなことができるのかを考え、自分の言葉で表現することができる。 6 政党や利益集団の意義とは何か自分の言葉で説明することができる。 7 メディアの問題点について考えどのように接するべきなの	授業プリント 前時の復習テスト		○	○	○		



# 令和8年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
数学	数学 I	2単位	1学年	高校数学 I (実教出版)	ステップノート数学 I 新刊	石川 柊

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	数学的活動を通して、基礎基本の定着を目指し、数学に対する興味・関心を高めて欲しい。
【学習の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に取り組もうとする態度を特に評価します。</li> <li>・基礎的知識、論理的思考を身に付けようとする態度で取り組んで下さい。</li> </ul>

【評価の観点とその主な目標】	※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。
評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 授業の目標に対して十分に満足できる状況 評価B 授業の目標に対して概ね満足できる状況(標準) 評価C 授業の目標に対して到達度が不十分で努力を要する状況

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力や論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	数と式のおよそを認識し日常生活や社会生活に活用しようとし、粘り強く考え 数学的論拠に基づいて判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題 (Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
	オリエンテーション									
中学校の復習 数と式①	数の計算①	1	整数や分数、小数の四則計算や累乗の計算はどのようにすればいいのだろうか。	整数や分数、小数の四則計算、累乗の方法について理解を深め、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント	○				
	数の計算②	2	カッコのついた場合の計算や、正負の四則計算はどのように計算すればいいのだろうか。	カッコの処理の仕方や、正負の四則計算について理解を深め、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント		○			
	式の計算	3	文字が含まれている式はどのように計算すればいいのだろうか。	文字式の計算について理解を深め、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント			○		
	式の展開①	4	効率良く式を展開するにはどのようにすればいいのだろうか。	式の展開について理解を深め、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント	○				
	式の展開②	5	公式にはない展開の問題はどのように展開すればいいのだろうか。	展開の応用について理解を深め、問題に取り組む。	発問 行動観察 プリント			○		
	因数分解①	6	因数分解ってなに?	因数分解の定義を理解し、公式を用いて共通因数でくることができる。	発問 行動観察 プリント	○				
	因数分解②	7	足して真ん中の数、掛けて右側の数になる数字の組合せを探そう!	因数分解の公式を用いて、問題を処理することができる。	発問 行動観察 プリント			○		
	因数分解③	8	項が2つの式を因数分解するとき、共通因数でくくる以外の方法はあるか?	因数分解の公式を用いて、問題を処理することができる。	発問 行動観察 プリント			○		
	因数分解④	9	$x^2$ の前に数字があるときは、共通因数でくくる以外の方法はあるか?	因数分解の公式を用いて、問題を処理することができる。	発問 行動観察 プリント	○				
	因数分解⑤	10	複雑な式を因数分解するときはどうすればいいの?	因数分解の公式が使える形に変形して、問題を処理することができる。	発問 行動観察 プリント			○		
	確認テスト	11	確認テスト		テスト	○				

大単元	小単元	次	課題 (Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
中学校の復習 数と式②	平方根の計算①	12	平方根ってなに? どうやって計算するの?	平方根の意味や性質について理解し、平方根の計算をすることができる。	発問 行動観察 プリント			○		
	平方根の計算②	13	有理化ってなに?	分母を有理化することができる。	発問 行動観察 プリント	○				
	式の計算の利用	14	複雑な式はどう計算すればいいのだろうか。	計算を簡単に処理できるよう考え、工夫して計算することができる。	発問 行動観察 プリント			○		
	1次方程式①	15	方程式、1次方程式ってなに?	方程式、1次方程式について意味を理解し、問題を解くことができる。	発問 行動観察 プリント			○		
	1次方程式②	16	文章を数式化するにはどう考えたいのだろうか。	問題文章を読み解き、1次方程式を作ることができる。	発問 行動観察 プリント			○		
	連立方程式	17	連立方程式と方程式の違いはなに?	連立方程式について解き方を理解し、適切に判断し解くことができる。	発問 行動観察 プリント	○				
	2次方程式①		2次方程式ってなに?	2次方程式について解き方	発問					



	42	けるだろうか？	できる。	プリント	○		
絶対値	43	絶対値ってなに？	絶対値について理解し、適切に値を求めることができる。	発問 行動観察 プリント	○		
確認テスト	44	確認テスト		テスト	○		

令和8年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
理科	科学と人間生活	2単位	1学年	高等学校 科学と人間生活(啓林館)	各種補助資料(印刷物)	齊藤 真志

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	科学的な見方や考え方を養い、科学に対する興味・関心を高めて欲しい。
【学習の留意点】	・意欲的に学習に取り組もうとする態度を特に評価します。 ・基礎的知識、論理的思考を身に付けようとする態度で取り組んで下さい

【評価の観点とその主な目標】
※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか？(基準)」と「どのようなレベルを求めるか？(規準)」を説明します。
評価の規準(どのようなレベルを求めるか？)
評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自然の事象・現象について授業を通して理解し、知識や技能を身に付けている。	事象を科学的に観察し、導き出した考えを的確に表現しようとしている、もしくは表現できている。	自然の事象・現象に関心をもち、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題 (Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
第1部 第2章 微生物とその利用	A 炭素の循環と微生物	1	なぜ呼吸しているの？ 微生物って必要なの？	炭素の循環と微生物の係わりについて学ぶ。	ノート プリント テスト	○				
	B 生態系における微生物	2	顕微鏡ってどうやって使うの？	顕微鏡の使い方や、微生物の観察方法について学ぶ。	プリント			○		
	C 窒素の循環と微生物	3	窒素がなくなるとどうなる？	窒素の循環と微生物の係わりについて学ぶ。	ノート プリント テスト	○				
	C 水の浄化と微生物	4	飲み水はどうしてきれいなもの？	水の浄化と微生物の係わりについて学ぶ	ノート プリント テスト		○			
	D 微生物と人間の食生活	5	発酵食品ってなんだろう？	様々な発酵とそれを利用した食品について学ぶ。また、腐敗との違いを理解する。	ノート プリント テスト			○	○	
	E 微生物と医学への応用	6	カビや細菌が作り出す物質の中に、人の役に立つものはない？	抗生物質のはたらきや精製法について学ぶ。	ノート プリント テスト	○	○			
第2部 第2章 衣料と食品	A 衣料と繊維	7	衣料の繊維にはどんな種類や性質があるだろう？	衣料に使われる繊維には様々な種類があり、様々な性質があることを学ぶ。	ノート プリント テスト	○		○		
	B 衣料の洗濯	8	せっけんは何から出来ている？ どうやって汚れを落とすの？	せっけんの性質や作り方について学ぶ。	ノート プリント テスト		○	○		
	C 食品の成分とエネルギー	9	5大栄養素って何？ 人は1日にどのくらいのエネルギーを摂取する必要がある？	5大栄養素やエネルギー必要量について学習する。	ノート プリント テスト	○		○		
	D 炭水化物	10	ベタベタする米とパサパサする米は何が違う？どちらが健康的？	炭水化物を、単糖類・二糖類・多糖類に分類し、それぞれの性質について学ぶ。	ノート プリント テスト	○	○			
	E タンパク質	11	古くなったタンパク質はどうやって排出する？	アミノ酸の構造について学ぶ。	ノート プリント テスト	○	○			
	F 脂質	12	固体の油と液体の油は何が違う？	脂質の構造やその性質について学習する。	ノート プリント テスト		○	○		
第3部 第2章 熱の性質とその利用	A 熱と温度	13	温度が上がると、何がかわるの？ 熱が伝わるって、何が伝わるの？	分子の熱運動理論を用いて、熱に関する様々な現象について考える。	ノート プリント テスト	○	○	○		
	B 熱量と比熱	14	比熱って何？	熱量と比熱の関係について、数式を用いて考える。	ノート プリント テスト	○	○	○		
	C エネルギーの利用	15	エネルギーって何だろう？	エネルギーの変換とその利用方法について考える。	ノート プリント テスト	○		○		
第4部 第2章 自然景観と自然災害	A 地震による景観と災害	16	何で地面が動くの？	プレート運動と地震の仕組みについて学ぶ。	ノート プリント テスト	○		○		
	B その他の災害	17	北海道でどんな災害が起こる可能性がある？	流水・津波・火山噴火など、北海道で起こる可能性のある災害について調べる。	レポート	○	○			



令和8年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
保健体育	保健	1単位	1学年	現代高等保健体育	なし	高原 大誠

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育
【学習の留意点】	・意欲的に学習に取り組もうとする態度を評価する。 ・基本的な知識を身につけ、自分の心と身体や、健康について考えようとするのが大切である。

【評価の観点とその主な目標】	
※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。	
評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題 (Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
	オリエンテーション			授業の年間の見通しや意義を理解する。	提出課題		○	○		
1単元 現代社会と健康	1 健康の考え方と成り立ち		・健康とはどのような状態だろうか? ・どんな健康の要因があるのだろうか?	健康の考え方や、健康の成り立ちとその要因について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	2 私たちの健康のすがた		・昔と比べると今の日本の健康はどうへんかしたでしょうか? ・現代社会の健康問題はなにだろうか?	健康水準の変化とその背景や現在の健康問題について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	3 生活習慣病の予防と回復		・生活習慣病ってなんだろうか? ・その予防と回復の仕方はあるだろうか?	生活習慣病は、日常生活行動と深い関係があることを理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	4 がんの原因と予防		・がんの原因や予防はなんだろうか?	がんの種類や原因、予防を理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	5 がんの治療と回復		・どんな治療があるだろうか? ・社会では、どんな取り組みがあるだろうか?	がんの治療法や社会的な対策について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	6 運動と健康		・運動をすると体にどんな変化があるだろうか?	健康と運動の関係について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	7 食事と健康		・健康な食事とは、どのような食事だろうか?	食事と健康の関係性について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	8 休養・睡眠と健康		・休養と睡眠をとらないとどうなるか? ・良い休養・睡眠とは何だろうか?	健康からみた、休養・睡眠の意義について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	9 喫煙と健康		・なぜ喫煙はいけなのだろうか? ・喫煙にまつわる取り組みやマナー・ルールはどのようなものがあるか?	喫煙対策について、個人や社会に分けて理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	10 飲酒と健康		・なぜ飲酒はいけなのだろうか? ・飲酒にまつわる取り組みやマナー・ルールはどのようなものがあるか?	飲酒の長期的影響と短期的影響を理解する。 健康問題に対する個人や社会環境の対策について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	11 薬物乱用と健康		・依存性って何だろうか? ・薬物が人体に与える影響とは?	薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解する。 薬物乱用防止のための個人や社会の対策を理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	12 精神疾患の特徴		・精神疾患の要因や種類にはどのようなものがあるだろうか?	精神疾患の発病の要因や症状について理解する。 現代社会における精神保健の課題を理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	13 精神疾患の予防		・精神疾患の予防する方法はなんだろうか?	精神疾患の予防、早期発見に必要なことについて理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			

2単元 安全な社会生活	14 精神疾患からの回復	・精神疾患から回復するために、どのようなことが行われているか？	治療法や回復のためにどのような社会環境が必要か説明できる。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	15 現代の感染症	・感染症とは？ ・どんな感染症があるか？	感染症とは何か潜伏期間や感染力について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	16 感染症と予防	・感染症の予防はどんな経路があるか？	予防対策について3原則を理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	17 性感染症・エイズとその予防	・性感染症とは？	性感染症・エイズのほか感染症と異なる点について理解する。 対策について個人と社会について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	18 健康に関する意志決定・行動選択	・意志決定、行動選択それぞれにかかわる要因はなんだろう？	意志決定、行動選択それぞれにかかわる要因について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	19 健康に関する環境づくり	・健康を保持増進するための環境とは？ ・ヘルスプロモーションの考え方は？	社会環境の健康への影響について理解する。 ヘルスプロモーションの考え方を理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	1 事故の現状と発生要因	・事故を起こした場合の被害の実態はどのようになっているだろうか？	事故の実態と被害の実態について理解している。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	2 安全な社会の形成	・自他の安全の確保する行動とはどのような行動があるだろうか？	安全のために必要な個人の行動について理解する。 すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○			
	3 交通安全における安全	・交通事故防止のための取り組みはどのようなものがあるだろうか？	交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
	4 応急手当の意義とその基本	・心肺蘇生法はなぜ必要か？ ・心肺蘇生法の手順は？	応急手当の意義について理解する。 傷病者を発見した時に、観察・確認するポイントを理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		
5 日常的な応急手当	・けがに応じた応急手当とは？	けがに応じた応急手当を理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○				
	6 心肺蘇生法	・心肺蘇生法の方法と意義について。	心肺蘇生法の方法と意義を理解する。	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		

令和8年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
保健体育	体育	2単位	1学年	なし	なし	高原 大誠

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動できる資質や能力を育てる。
【学習の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に取り組もうとする態度を評価する。</li> <li>・運動不足の解消および体力の向上を目指す。</li> <li>・仲間と協力して取り組み、公正、協力、責任などの態度を身につける。</li> </ul>

【評価の観点とその主な目標】	
※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。	
評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題(Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
	オリエンテーション			授業の年間の見通しや意義を理解する。	提出課題	○	○			
	体づくり運動			・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	陸上競技			・跳躍(走幅跳) ・投擲(砲丸投げ) ・競走(持久走・ハードル走・20mシャトルラン)	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	ソフトボール			・キャッチボール ・打撃 ・守備 ・試合	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	バドミントン			・ドライブ ・ハイクリア ・ドロップ ・ヘアピン ・ゲーム など	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	サッカー			・パス ・ドリブル ・シュート ・ゲーム	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	バレーボール			・アンダーハンドパス ・オーバーハンドパス ・サーブ ・スパイク ・ゲーム	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	バスケットボール			・パス ・ドリブル ・シュート ・ゲーム	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	ダンス			・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	卓球			・ラリー ・サーブ ・ゲーム	発問に対する返答 行動観察 技能 他の授業活動	○	○	○		
	体育理論		スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。	・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方	発問に対する返答 行動観察 プリント 他の授業活動	○	○	○		

令和8年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
外国語	英語コミュニケーションI	2単位	1学年	All Aboard English Communication I	各種補助教材(印刷物等)	鹿原真生

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的な能力を養う。
【学習の留意点】	英語は言語であり、人と人とのコミュニケーションを図る手段である。人々とコミュニケーションを図るには英語を通じて理解し、知識や見聞を広めると同時に、自分の考えや意見を英語で表現し、発信することが大切である。日頃から相手の話をよく聞き、自分の考えを述べる習慣をつけ、積極的に異文化にふれることを心がけさせる。

【評価の観点とその主な目標】
※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか(基準)」と「どのようなレベルを求めるか(規準)」を説明します。
評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)
評価A 十分満足できる状況
評価B 概ね満足できる状況
評価C 努力を要する状況

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・日常的な話題について、英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているか。	・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現しているか。	・コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題 (Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
ガイダンス	授業の進め方・評価方法などの説明							○		
Warm-up	アルファベット		・アルファベットの書き方を再確認し、各アルファベットのフォニックスの復習をする。	・各アルファベットを正しく発音できる。	発問 行動観察 プリント		○			
	教室で使う表現		・Class room English!	・授業ないで使用する英語の指示や返答を学習する。	発問 行動観察 プリント			○		
Pre-lesson	part1		・My name is Ito Neko.	・本文を読み、内容を理解する。 ・be動詞の肯定文と否定文、疑問を復習する。	発問 行動観察 プリント	○				
	part2		・I like junk food!	・本文を読み、内容を理解する。 ・一般動詞の肯定文と否定文、疑問を復習する。	発問 行動観察 プリント	○				
	Communication I		・Please introduce yourself.	・自己紹介する。	発問 行動観察 プリント		○			
Lesson1	part1		・What is Marie's favorite breakfast?	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○		○		
	part2		・Where did Phong eat breakfast today?	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○		○		
	過去形		・Let's review the past tense.	・過去形の構造を復習し、過去の出来事について話す。	発問 行動観察 プリント	○				
	Let's Try!		・Introduce your room.	・There beの形を用いて自分の部屋を紹介する。	発問 行動観察 プリント		○			
Lesson2	part1		・What is Rottneast Island famous for?	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○		○		
	part2		・What kind of rules are there for visitors?	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○		○		
	進行形		・Let's review the progressive.	・進行形の構造を復習し、現在進行形及び過去進行形の文を作ることが出来る。	発問 行動観察 プリント	○				
	Let's Try!		・Introduce your favorite one.	・絵や写真を用いて、自分の好きなもの、人を紹介する。	発問 行動観察 プリント		○			
Lesson3	part1		・Why is Utsunomiya Seika always busy with her duties?	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○		○		

	part2	What will Seika do for as long as possible?	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○		○		
	助動詞	Let's review the 'can' and 'will'.	・助動詞の構造を復習し、これからすることやできることについての文を作ることが出来る。	発問 行動観察 プリント	○				
	Let's Try!	how to go and what you can do	・ある場所への行き方と、そこで出来ることについて発表する。	発問 行動観察 プリント		○			
Lesson4	part1	what does the flat become like on sunny days during the rainy seasons?	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○		○		
	part2	What does Kate want to do in the future?	・本文を読み、内容を理解する。	発問 行動観察 プリント	○		○		
	to不定詞	「…するために」ってなんて言うの？	to不定詞の構造と3つの用法を学習し、使えるようになる。	発問 行動観察 プリント	○				
	Let's Try!	Introduce a place you want to visit.	行ってみたい場所について発表する。	発問 行動観察 プリント		○			

令和8年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
商業	情報 I	2単位	1学年	実教出版	なし	堀籠 美羽

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【学習の留意点】	(1)効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2)情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【評価の観点とその主な目標】	
※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか(基準)」と「どのようなレベルを求めるか(規準)」を説明します。	
評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

※評価の「観点II」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題(○)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	恵	主	実施日	振り返り・次年度に向け
第1章 情報社会と私たち	1 情報社会	1	情報社会って何だろう。	情報社会の現状や特性について理解する。	授業観察 レポート	○				
	2 情報社会の法規と権利	2	情報関係の法規や権利について考えてみよう。	他人の著作物を適切に利用したり、自分の著作物を公開したりする方法を理解する。	授業観察 レポート		○			
	3 情報技術が築く新しい社会	3	最新の情報技術とは何だろう。	社会の中で活用されている情報技術について理解する。	授業観察 レポート 小テスト			○		
第2章 メディアと情報デザイン	1 メディアとコミュニケーション	4	メディアとコミュニケーションについて考えてみよう。	メディアの特性について理解し、目的に応じたメディアを選択することができる。	授業観察 レポート	○				
	2 情報デザイン	5	情報にはどんなデザインがあるのだろう。	社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。	授業観察 レポート		○			
	3 情報デザインの実践	6	情報デザインを実際に扱ってみよう。	報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する。	授業観察 レポート 小テスト			○		
第3章 システムとデジタル化	1 情報システムの構成	7	情報システムはどのように構成されているのだろう。	コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。	授業観察 レポート	○				
	2 情報のデジタル化	8	デジタル化って何だろう。	アナログとデジタルの違いについて理解する。	授業観察 レポート 小テスト		○			
第4章 ネットワークとセキュリティ	1 情報通信ネットワーク	9	ネットワークはどのように構成されていて、どんな種類があるのだろう。	情報通信ネットワークの構成について理解する。	授業観察 レポート			○		
	2 情報セキュリティ	10	情報を安全に扱うにはどんなセキュリティがあればよいのだろう。	脅威に対する様々な安全対策について理解する。	授業観察 レポート 小テスト	○				
第5章 問題解決とその方法	1 問題解決	11	問題を解決する方法について考えてみよう。	問題解決の手順について理解する。	授業観察 レポート		○			
	2 データの活用	12	集めたデータはどんな場面で活用できるのだろう。	データを収集したり、整理したりする方法について理解する。	授業観察 レポート 小テスト			○		

令和8年度 年間指導計画・評価計画

北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制

教科	科目	単位数	実施学年	教科書(出版社)	副教材等	担当者
商業	ビジネス基礎	1単位	1学年	実教出版	なし	堀籠 美羽

科目名に○の付した科目は、学校設定科目です。

【身に付けて欲しい力】	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身につけ、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。
【学習の留意点】	・意欲的に授業に参加し、課題に取り組んでいる。 ・ビジネスに対して関心をもち、授業に取り組んでいる。

【評価の観点とその主な目標】	※評価を行う時は、単元、授業の前に「どのような力を求めるか? (基準)」と「どのようなレベルを求めるか? (規準)」を説明します。
評価の規準(どのようなレベルを求めるか?)	評価A 十分満足できる状況 評価B 概ね満足できる状況 評価C 努力を要する状況

観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。

※評価の「観点」については、適宜各教科の指導要領に合わせて変更して下さい。

大単元	小単元	次	課題 (Q)(今時の問いかけ)	実施内容・目標	評価の方法	知	思	主	実施日	振り返り・次年度に向け
第1章 商業の学習とビジネス	1. いざ、ビジネスの世界へ	1	商業ってなんだろう。現代の社会の変化について考えてみよう。	商業を学ぶ重要性和学び方、ビジネスの概要について理解する。	授業観察 レポート	○				
	2. 私たちの社会とビジネス	2	社会とビジネスの結びつきについて考えてみよう。	ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連	授業観察 レポート 小テスト		○			
第2章 ビジネスとコミュニケーション	1. コミュニケーション	3	コミュニケーションってなんだろう。上手なコミュニケーションについて考えてみよう。	ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学ぶ。	授業観察 レポート			○		
	2. ビジネスマナー	4	ビジネスマナーってなんだろう。社会人として大切なことってなんだろう。	ビジネスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動できる力を身に付ける。	授業観察 レポート	○				
第3章 経済と流通の基礎	3. 情報の入手と活用	5	情報はどのように集めればよいのだろうか。信頼できる情報ってなんだろう。	企業活動における情報の重要性について理解し、情報の活用及び評価・改善を行う。	授業観察 レポート 小テスト		○			
	1. 経済の仕組みとビジネス	6	経済はどのようなしくみで循環しているのだろうか。	経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基礎として、流通に関する課題を発見し、その解決方法を考える。	授業観察 レポート			○		
第4章 さまざまなビジネス	2. 経済活動と流通	7	流通ってなんだろう。毎日食べている食事を基に考えてみよう。	流通を支える組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	授業観察 レポート 小テスト	○				
	1. ビジネスの種類	8	ビジネスにはどんな種類があるだろうか。	ビジネスの種類について理解し、流通や流通に関わる様々なビジネスについて学ぶ。	授業観察 レポート		○			
第5章 企業活動の基礎	2. 小売業 卸売業	9	小売業・卸売業の役割とはなんだろう。小売業・卸売業にはどんな種類があるのだろうか。	流通や流通に関わるビジネスに関する知識を基礎として、流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。	授業観察 レポート			○		
	4. 金融業 情報通信業	10	金融業・情報通信業の役割とはなんだろう。金融業・情報通信業にはどんな種類があるのだろうか。	流通や流通に関わる組織の一員としての役割を果たすための力を身に付ける。	授業観察 レポート 小テスト	○				
第6章 ビジネスと売買取引	1. ビジネスと企業 マーケティングの重要性	11	企業の目的とはなんだろう。どんな種類の企業があるだろうか。	企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学ぶ。	授業観察 レポート		○			
	3. 資金調達 4. 財務諸表の役割	12	ビジネスに必要な資金はなんだろう。どのように資金を集めるのだろうか。	企業活動に関する知識を基に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考える。	授業観察 レポート			○		
第7章 ビジネス計算	1. 売買取引の手順	13	企業間の売買取引とふだんの買い物の違いはなんだろう。	売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学ぶ。	授業観察 レポート		○			
	2. 代金決済	14	代金の支払い方法にはどんなものがあるのだろうか。	取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考える。	授業観察 レポート 小テスト			○		
第8章 身近な地域のビジネス	1. ビジネス計算の基礎	15	割合はどこで使われているのだろうか。仕入原価と利益額はどのように計算するのだろうか。	ビジネス計算に関する知識や技術を学ぶ。	授業観察 レポート	○				
	2. ビジネス計算の応用	16	度量衡や貨幣の換算とはなんだろう。利息の計算はどのようにするのだろうか。	ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付ける。	授業観察 レポート 小テスト		○			
第9章 地域ビジネスの動向	1. さまざまな地域の魅力と課題	17	地元網走の魅力と課題を基に考えてみよう。	さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学ぶ。	授業観察 レポート			○		
	2. 地域ビジネスの動向	18	過去と現在でオホーツク網走のビジネスはどのように変化してきたのだろうか。	さまざまな地域のビジネスに関する知識などを基に、身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。	授業観察 レポート 小テスト	○				